

これまで  
見たことのない  
高さの噴煙

軽石・火山灰の  
降下・堆積

黒神埋没鳥居

降灰で埋没した民家

大正噴火の様子

～大規模噴火に備えよう～

もし、いま桜島で

大正噴火級の

大規模噴火が発生したら…

東の風が  
吹いた場合

鹿児島市街地側はどうなる？

中面へ

軽石や火山灰が最大1メートル堆積する地域も

大正噴火級の大規模噴火が発生すると、桜島島内はもちろん、市街地側においても東の風（市街地方向への風）の場合、大量の軽石や火山灰が降り積もることが想定されます。



その時あなたは？

あなたの住まいや地域に大きなリスクが！

家の中にいれば大丈夫と思っていると…



すぐに誰かが救助してくれると思っていると…



軽石と火山灰だけと思っていると…



東の風が吹くのは主に夏場が多く、暑さによる身体的・精神的負担が大きくなります。



あなたと家族の命を守るために

より安全な**広域避難**

噴火が起こる前に、大量の軽石・火山灰の降下が予想される地域の外へ避難(市外への広域避難)しましょう。

でも、避難対象地域(市街地側)の住民が**一斉に広域避難**すると

(※軽石・火山灰が堆積する地域の想定最大数 38万人)






どうすべき!?



それなら、どうする？ 裏面へ

# 東の風（市街地方向への風）の場合、鹿児島市が市街地側へ発令する段階的な避難情報に応じて適切な避難行動を！

	大正噴火の事例を参考に想定される前兆現象等	鹿児島市から市街地側への避難情報等	市民がとるべき避難行動
大規模噴火の可能性が高まってきた	例えば ・気象台が、桜島に対し、 <b>噴火警戒レベル 4</b> （警戒範囲：全島）を発表 ・桜島の <b>一部</b> で <b>弱い地震</b> が発生	<b>注意喚起</b> 火山活動や風向きに関する情報発信や、病院や福祉施設などの自主避難を呼びかけます	避難情報の発令に備えて <b>すぐに避難できる準備を</b>
大規模噴火の発生が迫っています	例えば ・気象台が、桜島に対し、 <b>噴火警戒レベル 5</b> （警戒範囲：全島）を発表 ・桜島の <b>全域</b> で <b>有感地震</b> が発生	<b>高齢者等避難</b> 大量の降灰等が予想される地域の高齢者等に対し、避難を呼びかけます	高齢者の方などは域外の安全な場所へ <b>避難してください</b>  JR、自動車、バスによる避難
いよいよ大規模噴火のときが	例えば ・噴火警戒レベル 5（警戒範囲：全島）は継続 ・ <b>市街地側でも有感地震</b> が発生（震源は桜島付近）	<b>避難指示</b> 大量の降灰等が予想される地域の住民等に対し、避難を呼びかけます	域外の安全な場所へ <b>ただちに避難してください</b>  JR、自動車、バスによる避難
 <b>大噴火</b> <b>噴火発生</b> 噴火に伴い <b>大地震も発生</b> するおそれ	やむを得ず屋内退避をする際は、 <b>堅牢な建物に避難</b> しましょう。（いざという時に備え、平時から備蓄等をおこなしましょう）		

※これはあくまで大正噴火の前兆現象等を参考にした一例にすぎず、上記のとおりとならない場合も考えられます。

## 噴火前に広域避難をするためには…市民一人一人の協力が必要です！

高齢者の方などは  
早めの避難

自動車で避難する  
場合は 1 世帯 1 台

決められた道路を  
通って広域避難

駅のそばに住んでいる  
方は JR で避難

## ○大規模噴火に備え、前兆現象を早い段階で把握できる体制が整えられています。

前兆現象は  
早い段階で現れます！

大正噴火を参考にすると、大規模噴火の前には、噴火のおよそ 1 年～数か月前から有感地震や大きな地殻変動などのさまざまな前兆現象が現れます。

桜島では様々な研究と  
観測が行われています！

桜島では、京都大学防災研究所による火山活動の動きを捉える世界トップレベルの研究のほか、鹿児島地方気象台による 24 時間体制での監視観測が行われており、大規模噴火の前兆現象を常に確認できる体制が構築されています。



【発行・お問い合わせ】

鹿児島市 危機管理局 危機管理課  
TEL 099-216-1513

お住まいの地域ごとの避難先や避難経路など、大量軽石火山灰対応計画の全文や関連情報は、鹿児島市ホームページからご覧ください。

鹿児島市 桜島火山対策

検索



令和 6 年 3 月発行